

令和7年10月 マーケット・トレンド・レポート

2025年10月は、国内外で歴史的な出来事や経済の大きな変化が相次ぎました。

政治・経済・気候・国際情勢など、主要トピックスをまとめてお届けします。

JP 女性初の首相誕生 — 高市早苗政権が始動

10月21日、公明党の連立離脱を経て日本維新の会との新たな連立が発足し、高市早苗氏が日本初の女性首相に選出されました。臨時国会での選出後、ASEAN 首脳会議を皮切りに、米国のトランプ大統領、韓国の李大統領、中国の習主席と相次いで会談。外交手腕が高く評価され、JNN の世論調査では支持率 82%、Z 世代では 90%超を記録するなど圧倒的な人気を誇ります。SNS では「#サナ活」という言葉も登場するなど、国民の期待が高まっています。

日経平均株価は 5 万円突破！

10月30日には日経平均株価が史上初の 5 万 2,000 円台に到達しました。2 年前の 3 万 3,000 円台から約 1.5 倍の上昇となり、投資熱の高まりがうかがえます。

生活面では、食料品価格が 2 年前比 +5.9%、エネルギー（ガソリン・電気・ガスなど）は +13.3% と上昇傾向が続いています。金価格も先月比で 2 倍から 2.2 倍へ上昇し、「貯蓄より投資」という流れが一段と強まっています。

国際情勢 — 中東・ウクライナ情勢に変化の兆し

10月9日、イスラエルとハマスが第1段階の合意に達したと発表。13日にはハマスが人質全員の解放を表明しましたが、依然として一部地域で攻撃が続いています。

ロシアとウクライナも和平交渉が再開されつつありますが、双方の衝突は終息していません。

一方、高市首相は 10月28日にトランプ大統領をノーベル平和賞に推薦したことが話題となりましたが、その直後の 10月30日、トランプ大統領が SNS 上で「核実験指示」を投稿し、国際的に波紋を呼んでいます。

☀ 異例の気温推移 — 「四季が二季に」

10月12日には鹿児島で35℃の猛暑日を観測。17日頃まで西日本を中心に真夏日が続きましたが、下旬には一転して冬のような寒さに。秋の短さが際立ち、「四季が二季になった」との声も。紅葉は関東から九州にかけて11月下旬が見頃と予想されています。

🏠 地震・防災 — 三陸沖で M6.9 の地震

11月9日には三陸沖でマグニチュード6.9の地震が発生し、津波注意報が発令されました。その後もM4～M6台の地震が20回以上発生しています。南海トラフ地震の切迫は報告されていないものの、防災意識の向上が求められます。

なお、11月5日は「津波防災の日」。全国で防災訓練が多く実施されています。

📊 物価動向 — 値上げの波は続く

10月の食品値上げは3,024品目と、10カ月連続で前年を上回りました。11月は143品目と減少傾向に転じましたが、通年では2万品目を超える見込みです。

コカ・コーラなどのペットボトル飲料がついに200円に到達。米価格も高止まりが続き、2年前の約2倍に。生活コストの上昇が依然として家計を圧迫しています。

✈ 観光・インバウンド — 訪日客 3,000 万人を突破

政府は、1月～9月の訪日外国人客が前年同期比17.7%増の3,165万人に達したと発表。年間3,000万人を最速で突破しました。観光需要の回復は経済に追い風となる一方で、コメなどの国内相場上昇にも影響を与えています。

大阪・関西万博が閉幕

10月13日、大阪・関西万博が閉幕。会期中は国内外で大きな話題を呼び、「ミyakミyakロス」を感じる方も多いようです。国際的にも高い評価を得た成功裡の閉幕となりました。

スポーツ — 野球イヤーの集大成

メジャーリーグでは日本人選手の活躍が光り、ドジャースが球団初の2連覇を達成。山本由伸投手がワールドシリーズ MVP に輝きました。大谷翔平選手の3年連続 MVP 獲得にも期待が高まっています。

日本シリーズではソフトバンクが阪神を破り日本一に。野球シーズンの終了とともに“野球ロス”の声も聞かれます。

最後に

全国でクマの出没報道が相次いでいます。行楽や登山の際は十分ご注意ください。

今月のまとめ

政治・経済ともに大きな転換期を迎えた2025年10月。株高と物価上昇が並行して進むなか、生活者の意識も「貯蓄から投資へ」「節約から選択へ」と変化しています。今後の国内外情勢の推移に注目が集まります。